

令和3年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 人間環境大学 実施報告書



実施主体 助産学実践コース 実施内容 大学祭におけるイベント

### ①事前に取り組んだ内容

授業において、児童虐待に関する現状について学習した。また、虐待に発展する可能性のある望まない妊娠や産後うつ、親役割獲得に向けての支援について学習し、知識を深めた。看護職として児童虐待を防止するためにできることや、ハイリスク妊婦の事例をもとに支援内容について授業内でディスカッションし、考えを深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

子ども虐待防止オレンジリボン運動に関するポスター掲示、チラシの配布、オレンジリボンの配布を行った。大学祭にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策の下オンライン上で、パワーポイントを用いて啓発活動を実施した。主に、看護学生、学祭を見ている一般の方を対象に、「オレンジリボン運動の活動内容」「日本の子ども虐待の現状」「虐待の種類」「虐待を発見した時の対応」「ポスター掲示、リボンの配布」について啓発活動を行った。ポスター掲示、チラシ・リボンの配布は大学祭から約1か月間行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中、集中的な広報・啓発活動を実施していることを学んだ。また、全国でどのようにオレンジリボン運動の活動を実施しているのか知る機会となった。啓発活動を行った結果、リュックなどにオレンジリボンをつけている学生を見る機会が増えた。また、オレンジリボンを自身のカバンにつけたことで、街中を歩いているときに、オレンジリボン運動を行っている者としての自覚を持つことができた。

